

稱讚

一九五号

二〇一九年三月一日発行

発行 浄土真宗本願寺派 稱讚寺

〒二二一〇〇七五

東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号

TEL 〇三十五二四二二二〇二五

FAX 〇三十五二四二二二〇二六

みほとけは

み仏は 眼を閉じて

御名呼べば

さやかに居ます

さやかに居ます

み仏は 二人嘆きて

御名呼べば

笑みてど居ます

笑みてど居ます

み仏は 慕いまつりて

御名呼べば

包みて居ます

包みて居ます

吾が前に

吾が前に

吾が胸に

吾が胸に

吾がいのら

吾がいのら

先月、長年、東京ビハラの会員さんで、**がん患者・家族語らいの会**に参加され、「通信」の発行でお手伝いくださいました。お東の住職さん**が**お導師で、お勤めの最後に、上記の**みほとけは**を歌われ、心に響いたことあります。この歌は、お東で作られたとのことで、本願寺派でも、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要等で、歌われ親しまれております。

インターネットに次のような記事が掲載されておりました。

みほとけはの歌は、良い歌ですが、この歌にあるような阿弥陀さまのイメージを、実際の法話で聞いたことが今までないので、是非ともこの阿弥陀さまのイメージを大切にしていきたいと書かれていました。私に向けられたメッセージと感しました。

そして、阿弥陀さまは、衆生の心の奥底にいらっしやると、同時に、時空を超えて全てのものを包んでいらっしやるのだからとおっしゃり、最後に、ご本人は

二〇一九年度 稱讚寺門信徒会費

年会費 六千円

振込先 城北信用金庫 一ツ家支店

名義 浄土真宗本願寺派 稱讚寺教会

代表 北村 信也

口座 普通 6176051

稱讚寺

春季彼岸会のご案内



浄土への道は
浄土から開かれたものである

金子大榮師

「いつも阿弥陀如来と共に生きることのできる自分でありたい」と締めくくっておられました。

「お彼岸」は「到彼岸」と言い、悟りの世界に往くことを言います。よく西の彼方に沈む夕日の向こう側に阿弥陀さまのお浄土があると喩えて言われます。静寂な、そしてどこことなく懐かしくさえ思え、人生の行き着くところ、安心を感じるところとして、喩えられていることでもあります。そして、それを憶い、手を合わせ、“南無阿弥陀仏”とお念仏申し、そこに私の方から生まれることを希うのが、お彼岸の集いであるように思っている節があります。

また、亡くなった先人がいらっしやる世界として、先人を憶う日がお彼岸と思われるかもしれません。

お浄土は、私が想像しきれるものではなく、決して自分の力でこちら「此岸」からあちら「彼岸」へ往けるものではありません。

「これより西方十万億仏土を過ぎて世界あり。名づけて極楽という。その土に仏まします。阿弥陀と号す。今現に法を説きたまう」(『説阿彌陀經』)とあります。夕日が夕日の方から、その光を放ち、私を暖かく包んでくれているように、既に阿弥陀さまの方から私たちのもとへお出でくださっていたことをあらためて味わわせていただくのが、このお彼岸だろうと思いま

す。

「みほとけは」の歌を聴いて、阿弥陀さまの大きな慈悲は、日頃、意識もしていなかったであろう私に、あらためて、いつも包んでおられたことを憶わせてくださいました。

私は、ご法事では、よく「み仏に抱かれて」を歌うのですが、この「みほとけは」も是非歌ってみたいと思うようになりました。

この度のお彼岸では、この「みほとけは」を皆さんとご一緒に唱和したいと思いますので、是非、ご参拝方、宜しくお願ひ申しあげます。

かの安楽国土は、阿弥陀如来の正覚浄華の化生するところにあらざることをなし。同一に念仏して列の道なきがゆゑに。

『教行信証』行巻より

日時 三月二四日 日 十四時

日程 一四〇〇 おつとめ

仏説阿彌陀經
仏教讚歌 み仏は

一四〇〇 法話 住職

一五〇〇 茶話会

一四〇〇 恩徳讚

浄土」に「浄土」

お浄土」と言いますと、どういうイメージを持たれますか？

●●の語源は『無量寿経』に説かれておる「清浄国土」を二字に縮めた語と言われている。

『説阿彌陀經』には、「これより西方十万億土を過ぎて世界あり。名づけて極楽といふ。その土に仏まします。阿彌陀と号す。今現にましまして法を説きたまう」とあります。浄土」極楽」という世界は、「清らかな場所を言い当てる、そこには仏さまがいっぱい、極楽」には阿彌陀仏がいっぱい、極楽を現しているのだと思います。つまり、お浄土」とは清らかな場所だけを言うのではなく、清らかなるはたらきを言うのだと思います。それを「土」「国」で言ったり、依」の名前で言い表されているのでしよう。それもこれも、私たちが捉え易いように、言葉（方便）となつて示してくださっているのだと思います。

極楽」と言くと、『説阿彌陀經』に説かれるその国の衆生、もろもろの苦あることなく、ただもろもろの樂を受く」と言うことから、私の貧弱な想像では、温泉に浸かってあぁ極楽、極楽」とつい口に出すとか、極楽トンボ」と言うように、癒やされ、何の悩みもない、困ったこともない、仕事のことを忘れられる、心配事もない、痛くも、苦しくもない、考えることもない、悲しむこともない、の

ほほんと過ごせる場所・時という発想しかありませんし、お経にはお浄土の世界を細かく説かれてもいますが、私がイメージする世界は、せいぜい、自分に都合の良い解釈しかしません。浄土真宗の門信徒においては、お浄土」は阿彌陀さまがいっぱい、十方の仏さまの世界を総称して「浄土」と言います。例えば、阿闍如来の「東方妙喜世界」・薬師如来の「東方淨瑠璃淨土」・毘盧遮那仏の「蓮華藏世界」・大日如来の「密嚴淨土」・釈迦如来の「靈山淨土」・弥勒菩薩の「兜率天」・觀世音菩薩の「補陀落淨土」等です。

また、仏教徒以外では、「黄泉の国」とか「天国」、天国」が一番世間では通用していると思ひますが、浄土」も天国」も意味や我々の思いも何の違ひはないと思ひつゝ、現代の私たちかもしれないと思ひつゝ、テレビやお葬儀で交わされる言葉に「天国」という言葉が出ると、意識してしまうのですが、他宗を見下しているのかもしれない（ね）

仏さまそれぞれに「お浄土」があるといわれますが、その浄土も大きく分けて三種類あるといわれています。

- ① 来世浄土」 死後に赴く浄土として来世に建てられた浄土のこと
- ② 淨仏国土」 現実世界の浄土化を意味する語であり、現実の中で仏道実践に励む建てる浄土である
- ③ 常寂光土」 一切の限定を超えた絶対浄土。仏の悟りである真理そのものが具現している世界（の三種の世界です。また、親鸞聖人は「浄土」を意味する言葉と

して安樂浄土・彌陀浄土・安樂仏国・畢竟常樂の処・清淨仏国・清淨仏土・安樂国・安養浄土・報の浄土・実報土・眞の報仏土・極樂・安養・蓮華藏世界・無為・涅槃界・無上涅槃・大涅槃）・滅度・常樂・実相・法身・法性・眞如・一如・仏性・如来・無量光明土といっぱい表現されておられます。

戦国時代でよく登り旗に「厭離穢土・欣求浄土」と掲げられていたようですが、来世を思い、また、この世の平和を求め、理想の世界が一般的には「浄土」と捉えていたようですが、出家僧は、仏の悟りである真理そのものが、出家僧は、仏の悟りである真理そのものが、常寂光土」の世界を最終的に意識していたこととでしよう。親鸞聖人は、そのどれも阿彌陀如来の方便として、顕しておられると理解されていたと思ひます。

②の「淨仏国土」にしても現代の私たちは様々な社会問題に取り組む、その姿は素晴らしいものでありますが、私たちが、この世を浄土にするのだということ、ここで説いておられるのではないと思ひます。

それは、この如来、微塵世界にみちみちたまへり、すなはち一切群生海の心なり」（『唯信鈔文意』）にもありますように、仏さまのはたらく場所をも浄土と言う意味でこの世界を浄土と言ひ、この世界ではお釈迦さまが唯一の仏さまとしていらつしやるということとでしよう。

③の「常寂光土」も、色も無く形も無いですから、私たちに分かりません。そのことを親鸞聖人は二種法身として法性法身と方便法身に分けて、私たちの作り上げたお浄土ではない、紛れもない阿彌陀さまのはたらきと味わえることを「浄土」と言われているのでしよう。

天国と浄土

気がつけばお念仏を

先生、結局お浄土も天国も同じところなんですかね？」

カナダで開教使をしていた頃、お寺で毎週催されていたシニアカラオケクラブに来られた日系二世の男性から、このように問われました。

お話をよく伺うと、その方のお家は仏教徒でご家族もお寺のメンバーでしたが、熱心なクリスチャンである奥さまの影響で結婚後クリスト教徒になられたそうです。しかし七〇歳を超えた最近、夢の中に亡くなったお父さんや弟さんが出てこれ、気がつけば明け方にお念仏を称えていることが多いとのことでした。

私はその問いに一瞬悩みました。なぜなら涙ぐんだその瞳（ひとみ）には、お願いだから同じであると答えてほしい」という思いがにじんでいたのです。しかし私は、阿弥陀さまの極楽浄土とクリスト教の天国は、その性質も違うし、そこへ行く方法も違うということ、もっと言えば、阿弥陀さまと神さまは性質が全く違うことを思い切って伝えました。その違いを聴きにお寺にお参りくださいとお見送りしたのですが、やはり落胆されていました。

帰国後、そのことがいつまでも頭から離れなかったので、龍谷大学の大学院で指導を受けていた先生に質問させていただいたところ、このいのち終わったあと、すぐには会えなくても、いつかはお浄土で出会えます。阿弥陀さま

が必ずすべての衆生（むゆじょう）を残らず浄土に生まれさすとお誓いですからね。それに浄土の時間は人間が感じる時間と違いますから、会えない時間もほんの一瞬ですよ」とお答えくださいました。

有り難いお言葉に胸がすく思いでしたが、同時にカナダでそのように答えられなかった後悔の念でいっぱいになりました。

すべて我が師

親鸞聖人はお手紙に「聖道門（むようどうもん）」というのを、すでに仏になられた方で、わたしたちを導こうとして示された、仏心（ぶっしん）（禪）宗・真言宗・天台宗・華嚴（けごん）宗・三論（さんろん）宗などの大乘の究極の教えです。また、法相（ほっそう）宗や成実（じやうじつ）宗・俱舍（くしゃ）宗といいた権教（ごんきやう）や、小乗（しょうじょう）宗といっようななどの教えも、すべて聖道門です。権教といふのは、すでにさとりを開かれた仏や菩薩が、仮にさまざまながたを現（あらわ）してお導きになるので「權」というのです。現代語版（親鸞聖人御消息）五頁）とお示しです。聖人は、師の法然聖人や自らを法難にあわせる原因ともなった天台・法相宗を含めた聖道門の僧侶の方々をも、自身をほとけにならしめるためにはたらきかけてくださっている還相（げんそう）の菩薩として見ておられたのです。またその最後には、釈尊の善知識（ぜんちしき）は百人です。このことは「華嚴經」に説かれて「百十人」と示され、善財童子（ぜんざいどうじ）が求道（ぐどう）の旅で出会ったさま

ざまな職業や年齢の方を、すべてわが師と仰ぐ謙虚な姿を讃えておられます。

今も世界中で宗教の違いが原因になり、さまざまな憎しみ合いが起きています。私が受け持つ京都女子大学の仏教学の講義では、毎年一年生の最初の授業で「宗教についてどう思いますか？」というアンケートを書いてもらいます。が、無（な）い方が平和な世界になる」という答えが見受けられます。

世界を見渡した時、仏教の他宗の方々や、他の宗教を信仰している方々、そして特定の宗教を信仰していない方々と、多様な宗教観の中で私たちは生活をしています。

ご修行中の阿弥陀さまが二百十億もの仏国土をご覧になり、その長所や短所を学ばれたように、私たちもさまざまな仏教の宗派や他の宗教、そして感動をもたらしてくれる芸術や言葉などにも心を開いて、その素晴らしいところを謙虚に学び、あらゆるいのちからお念仏のみ教えを味わわせていただくという姿勢が大切だと思います。

阿弥陀さまの眼（まなざし）から見れば、この世に無駄のないのちはひとつもないのですから。

一歳になったばかりの私の息子にとっては、宗教や思想の違い、肩書や社会的地位などは関係なく、自分を見てにっこり笑いかけてくれる人に、ただただにっこりと心の底からほほ笑んでいるのです。その無垢な笑顔に、私の分別に満ちた心の濁りが照らし出される気がいたします。

釋氏（しやくし） 真澄氏（まみずみ）（きくちますみ）

『奉願寺新報』2015年2月1日号

ご文章を味わう

蓮如上人がお書きになった『御文章』を浅井成海先生の現代語訳から味わってみたいと思います

八万の法蔵章 五帖第二通

それ、八万の法蔵をしるといとも・後世を知らざる人を愚者とす、たとい一文不知の尼入道なりといとも・後世をしるを智者とすといえり、しかれば当流のころは・あながちにもろもろの聖教をよみ、ものをしりたりといとも・一念の信心のいわれをしらざる人は・いたざらごとなりとしるべし、されば、聖人の御ことばにも・一切の男女たらん身は・弥陀の本願を信ぜずしては・ふつとたすかるといことあるべからずと仰せられたり、このゆえにいかなる女人なりといとも・もろもろの雑行をすてて、一念に弥陀如来今度の後生たすけたまえと・ふかくたのみもうさん人は、十人も百人も・みなともに弥陀

の報土に往生すべきこと・さらさら、あるべからざるものなり、あなかしこ あなかしこ 疑

物知りだけでは無益

そもそも、お釈迦さまが説かれたあらゆる教えを知ったとしても、み仏のはたきにより今を生きぬき、永遠の命をいただく浄土に往生するという、人生のもっとも大切なことを知らない人を愚者という。たとえば文字も知らない無学な尼 在俗のまま剃髪して仏道に入った女性）でも、入道 在俗のまま剃髪して仏道に入った男性）でも、浄土往生という、人生のもっとも大切なことについて知っている者は智者である」といわれています。

そういうわけで、わが浄土真宗の精神からいえば、しいて多くの聖教を読み、物知りになったとしても、阿弥陀さまの仰せに従う信心のいわれを知らないならば、無益なことだと知らねばなりません。

ですから、親鸞聖人のお言葉にも、すべての男性も女性も、阿弥陀さまの本願を信じないでたすかるといことは、決してありえません」とおっしゃっています。

したがって、どのような女性でも、もろもろの雑行 み仏の願いに選ばれた行ではない、自分の力をたのんで行く種々雑多な行）を捨てて、阿弥陀如来さま、み仏の

はたらきにより今を生きぬき、永遠の命をいただきます」と心からお従いするならば、十人は十人、百人は百人すべて、みなともに、阿弥陀さまの真実の浄土に往生することができません。これは決して疑いありません。

あなかしこ、あなかしこ。

親鸞聖人のご和讃 正像末和讃）に、

よしあしの文字をしらぬひとはみなまことのころなりけるを

善悪の字しりがほは

おほそらごとのかたちなり

というご和讃があります。現代の私たちは、文字を知っているのは、あたりまえとしか思わず、知識・教養を身につけようとしています。

大峯頭師が、仏法を聴いて、あまり悪いことをしなくなるだろう」心が洗われるようにだ」世の中がこれまでと変わって見える」むっと心豊かに生きられるようになる」知識を得たい」と思っている。それは、カルチャーセンターの教養講座と何ら変わらない。仏法を聴いているようで、実は、世間の処方術を聴き、実生活の糧にしようとしているに過ぎない。

自分の後生がたすかるのが仏法であるから、自分の後生を問題にして聴聞することですとおっしゃいました。

後生の「大事」とは、私の仕事とすることではなく、阿弥陀さまの大きな智慧と大きな慈悲のはたらきと言うことでしょう。ご本願のいわれをこれからも聴いて参りたいです。

二〇一九年度 予定 稱讚寺 法要・行事

八月

六日 木) のんのん法話会 午後二時
 一六日 金) のんのん法話会 午後二時

盃蘭盆会法要)

二六日 月) のんのん法話会 午後二時

三〇日 金) 九月六日 金)

世界仏教婦人会大会参加

九月

六日 金) のんのん法話会 (休)

八日 月) のんのん法話会 午後二時

一六日 月) のんのん法話会 午後二時

一八日 木) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

二二日 月) 秋季彼岸会法要 午後二時

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

十月

六日 月) のんのん法話会 午後二時

三日 月) 東組一樹寺報恩講

一六日 木) のんのん法話会 午後二時

一九日 木) 東組浄雲寺報恩講

二〇日 月) 東組永稱寺報恩講

二六日 土) のんのん法話会 (休)

二六日 土) 二七日 月)

鹿兒島・稱讚寺永代経法要

十一月

三日 月) 東組浄泉寺報恩講

六日 木) のんのん法話会 午後二時

一二日 月) 一六日 土)

築地本願寺宗祖親鸞聖人報恩講

一六日 土) のんのん法話会 (休)

一七日 月) のんのん法話会 午後二時

二三日 土) 東組稱福寺報恩講

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

二七日 木) 二八日 木)

栃木南組観専寺報恩講

十二月

六日 金) のんのん法話会 午後二時

八日 月) 築地本願寺成道会布教大会

一二日 月) 一三日 木)

栃木南組妙傳寺報恩講

二五日 月) 宗祖親鸞聖人報恩講 正午

二六日 月) のんのん法話会 午後二時

報恩講おさらい)

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

三一日 木) 築地本願寺除夜会参拝

一月

一日 木) 元旦会 午前七時

六日 月) のんのん法話会 午後二時

九日 木) 一六日 木)

ご本山・御正忌報恩講

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

二六日 月) のんのん法話会 午後二時

二月

六日 木) のんのん法話会 午後二時

二五日 土) 築地本願寺涅槃会布教大会

二六日 月) のんのん法話会 午後二時

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

三月

六日 金) のんのん法話会 午後二時

一六日 月) のんのん法話会 午後二時

二二日 月) 春季彼岸会法要 午後二時

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

四月

六日 土) のんのん法話会 午後二時

空教開宗記念・花まつり

一六日 木) のんのん法話会 午後二時

二六日 金) のんのん法話会 午後二時

五月

六日 月) のんのん法話会 午後二時

一二日 土) 鎌倉組金剛寺永代経法要

二二日 月) 東組浄泉寺永代経法要

一六日 木) のんのん法話会 午後二時

二六日 月) のんのん法話会 午後三時

親鸞聖人降誕会)

二六日 月) 東組稱福寺永代経法要

六月

六日 木) のんのん法話会 午後二時

一六日 月) のんのん法話会 午後二時

二六日 木) のんのん法話会 午後二時

三〇日 月) 永代経法要 正午

七月

六日 土) のんのん法話会 午後二時

七日 月) 東組浄泉寺盃蘭盆会法要

一六日 木) のんのん法話会 午後二時

歡喜会法要)

二〇日 土) 東組浄雲寺新盆法要

二六日 金) のんのん法話会 午後二時

浄土真宗本願寺派 真昌寺・稱讚寺 法話会

鶴田義光先生による “生きる仏教”

-安心して迷ってゆけばいい-
「ただ念仏」という生き方

日時: 2019年3月23日(土曜)

- ・ 一席目 :10:00-12:30
- ・ 二席目 :13:30-16:00
- ・ 三席目 :16:30-19:00

各席とも法話の内容は異なります。一席だけの聴聞でも、連続参加でもお聞きいただける内容です。

場所: ムーブ町屋4階 会議室A (定員40名/地図は裏面ご参照)
(千代田線 町屋駅上 ☎:03-3819-7761)

聴聞費: 各席ごとに500円
申込み: 真昌寺/高安宛 (☎:080-5505-6752)
mail: gotkjp@yahoo.co.jp

参加申込みは、3月10日までにご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。
鶴田先生のプロフィールと、今回の法話会のテーマは裏面をご覧ください。

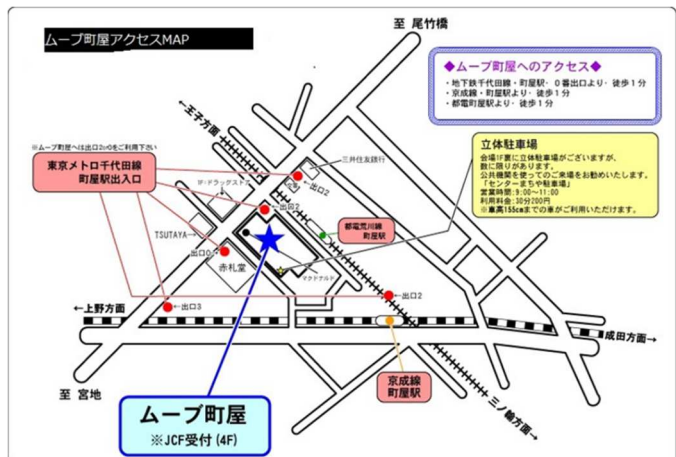
鶴田義光師 プロファイル:

1960年、大阪生まれ。愛知県の特別支援学校教諭。若き頃、生きる意味を求め、苦悩の末浄土真宗の教えを縁に廻心。現在、名古屋を拠点に念仏に生きる生活実践を中心とした愚深会という聞法会でほぼ毎週末講義。念仏とは、浄土とは、死後の世界の祈りではなく、生活実践の場で生きる仏法を唱導。

著書『すでにこの道あり』『歎異抄講述・聞書(一)、(二)』

- ・ 法話会のテーマ: 『安心して迷ってゆけばいい
—ただ念仏という生き方—』

- 念仏とは何ですか?
- 教いとは何ですか?
- 浄土真宗の御利益は何ですか?
- 念仏は、おじいさん、おばあさんのためのものですか?
- 仕事に、生活に追われる私にどう関係するのですか?



稱讚寺 行事予定

二〇一九年三月の行事予定

- 三日 日曜礼拝 午前九時
- 六日 水 のんのん法話会 午後一時
- 一〇日 日曜礼拝 午前九時
- 一六日 土 のんのん法話会 午後一時
- 一七日 日曜礼拝 午前九時
- 二二日 木 東久留米春季彼岸会
- 二三日 土 真昌寺・稱讚寺法話会
講師 鶴田義光師
会場 ムーブ町屋四階
- 二四日 日曜礼拝 午前九時
春季彼岸会法要 午後一時
- 二六日 土 のんのん法話会 午後一時

二〇一九年 四月の行事予定

- 六日 土 のんのん法話会 午後二時
立教開宗記念・はなまつり
- 七日 日曜礼拝 午前九時
- 一四日 日曜礼拝 午前九時
- 一六日 土 のんのん法話会 午後二時
- 二二日 日曜礼拝 午前九時
- 二六日 金 のんのん法話会 午後二時

二〇一九年 五月の行事予定

- 六日 土 のんのん法話会 午後二時
- 二日 日曜礼拝 午前九時
- 一六日 土 のんのん法話会 午後二時
- 一九日 日曜礼拝 午前九時
- 二二日 築地本願寺宗祖降誕会参拝
- 二六日 日曜礼拝 午前九時
のんのん法話会 午後二時
親鸞聖人降誕記念

二〇一九年 三月 法務・布教・出向予定

- 一日 金 東組移動教務所
- 二日 土 新庄家七回忌法要 十三時
- 三日 坂根家月忌参り 九時半
杵渕家三回忌 十三時
- 一〇日 大坪家七回忌 十一時
西家四九日法要 十四時
- 一二日 東組実践運動推進協議会
- 一六日 江口家三回忌 九時半
嶋田家納骨法要 十二時
- 一七日 奥田家法要 十一時
蛭田様四九日法要 十四時
- 二一日 東久留米春季彼岸会法座
- 二三日 真昌寺・稱讚寺合同法話会
時間 十時・十三時半・十六時半
会場 ムーブ町屋4階会議室A
- 三〇日 霜出家三回忌 十一時
後藤家納骨法要 十一時
田川家納骨法要 十四時
- 三一日 西澤家納骨法要 十一時

はな さ 花は咲く

えん あつ さ 縁が集まって咲く

二〇一九年 心のともしび」三月カレンダーより